

大阪南支部 昇級審査会 筆記試験

緑帯 問題

①以下、極真会館の創始からある道場訓です。作家の吉川英治先生が作成に加わった事でも知られています。抜けている一節を書け。

一つ、我々は//しんしんを錬磨し//確固不拔の心技を極めること。

一つ、我々は//武の神髄を極め、機に発し感に敏なること。

一つ、我々は//質実剛健を以って//克己の精神を涵養すること。

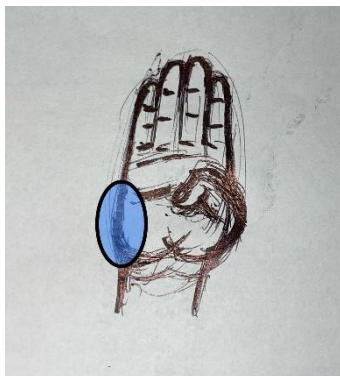
一つ、我々は//礼節を重んじ//長上を敬し//粗暴の振舞いを慎むこと。

一つ、我々は//神仏を尊び//謙譲の美德を忘れざること。

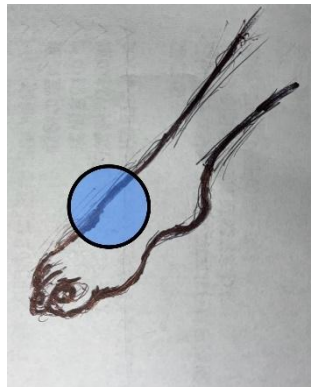
一つ、我々は//【 】

一つ、我々は//生涯の修行を空手の道に通じ//極真の道を全うすること。

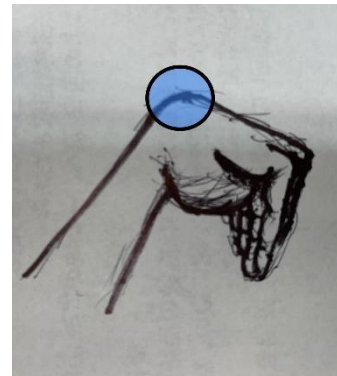
②以下の部位名称を答えよ。



【 】



【 】



【 】



【 】



【



【 】

③IKO 極真ルール競技について答えよ。(正解に○をつける)

- 1、相手が強そうに見える。思わず後退りして、場外ラインから両足とも出てしまった。その際には一切相手と接触していない。
A 反則行為となり、注意 1 が加算される。
B 反則ではないので、そのまま開始線に戻って続行
C 明確にルールとして決まっていない。

- 2、自分の上段廻し蹴りが相手に軽くヒットし、蹴り脚を下ろし、両足がマットに着いた状態で残心
A 技あり
B 軽いヒットなので技ありとならない。
C 蹴りの威力によるので状況により変わる。

- 3、相手の中段前蹴りを捌いたが、そのまま吹き飛ばされ、背中から床に着いた。蹴りによる中段へのダメージは無いので直ぐに立ち上がった。
A 一本負け
B 技ありを取られる。
C 有効打ではないので、開始線に戻り続行